



取扱説明書

この度は BLITZ AIR CLEANER を御買い求め頂き誠にありがとうございます。
作業に入る前に必ずパーツリストと照らし合わせ、部品がすべて揃っている事を確認して下さい。

■装着可能車種■ 注) 適合情報は変更される場合があります。詳しくは弊社 Web サイトをご覧ください。

□車 名：NISSAN SKYLINE
□型 式：PV36,CKV36
□エンジン：VQ35HR,VQ37VHR
□年 式：06/11- (PV36) , 07/10- (CKV36)
□製品番号：42129/35129

■重要事項■ ≪本製品を装着される前に必ずお読みください≫

□本製品はノーマル車種を基準に製作されています。社外品（純正品以外）のパーツ（パイピングK I T、ブローオフバルブ等）を装着されている場合や事故歴のある車種の場合は本K I Tの装着ができない場合があります。

□本製品を上記車種以外に装着したり改造した場合、当社は一切責任を負いません。

□取り付け作業は平坦で安全な場所で、エンジンを完全に冷やし、パーキングブレーキ等をかけて車両を確実に停止させて行って下さい。一般道、交通の妨げになる場所での作業は行わないで下さい。

□車両のバラツキにより、アイドルがばらついたりする場合があります。また、コンピューターセッティングが必要な場合もありますので、ご了承下さい。

□エアフロアダプター部のボルトの締付けトルクに注意して下さい。過度なトルクでの締付けは、破損の原因となります。

■アタッチメント部パーツリスト■

アダプター	エアフロアダプター	ステーRH	ステーLH	Φ70パイプ	Φ70ホース	ヒートプレートRH	ヒートプレートLH
 2	 2	 1	 1	 2	 2	 1	 1
ホースバンド	M6×20	ワッシャー	M4ビス	スポンジテープ	整流プレート	タイラップ	
 4	 8	 2	 2	 2	 4	 2	

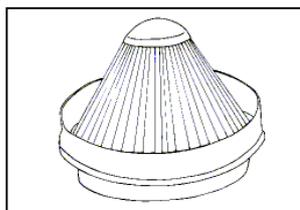
●ADVANCE POWER をご購入の方へ

■コア部パーツリスト■					
クリーナー本体	バンド	クーリングシールド	エンドプレート	ロックプレート	
					
2	2	2	2	2	6
M4六角頭ビス	M4六角レンチ	保護テープ(ホコッテ)	アダプターテープ(ビニール)		
					
12	1	2	2 20mm×500mm		

※アタッチメント部パーツリストも合わせてご確認ください。

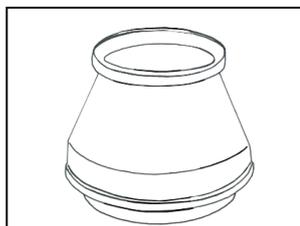
■コア部の組立手順■

手順 1



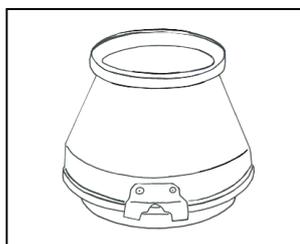
クリーナー本体にエンドプレートをはめ込みます。

手順 2



手順 1 ではめ込んだエンドプレートとクーリングシールドをはめ込みます。
※ネジ穴を合わせて下さい。

手順 3



ロックプレートを、M4 六角頭ビスを使用して組み付けます。
※M4 六角頭ビスを破損させないようにご注意ください。
※定期的に増し締めを行って下さい。

※以上で、コア部の組立は終了です。

■アダプターテープの使用方法について■

キットを取り付けする前に、アダプターテープをキットパーツのアダプター外周部に貼り付けてください。
アダプターからコア本体が脱落するのを防止します。

■メンテナンスについて■ <商品メンテナンスの重要事項です>

フィルターの交換及び清掃に関して

- 定期的にコア本体を取り外し中性洗剤で洗浄してください。
- ※性能維持の為に 5000km ごと洗剤を推奨致します。
- ※クリーナー部の汚れが酷い場合や破損している場合は、別売りのクリーナー本体をお買い求めください。

ご注意!

- 1) 他社メンテナンスキット及び灯油等によるフィルター清掃はエンジン損傷の原因になります。弊社の保証外にもなりますので、絶対に行わないでください。
- 2) ロックプレート取り付け/取り外しの際、M4 六角頭ボルトを破損させないようにご注意ください。弊社にて作業者のミスによる損傷と判断させて頂いた場合は保証外となります。ご了承ください。

■可変機構及びファンネルについて■

操作方法 ロックプレート固定用のM4 六角頭ビスを全て緩め、車体に干渉しない位置で締め込んで下さい。

ご注意!

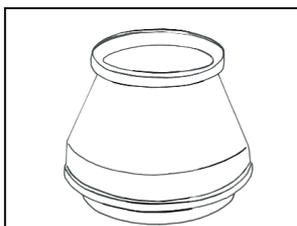
- 1) 車体各部に干渉しない位置に調整して下さい。
- 2) 車体の経年変化及びバラツキによりクーリングシールドのファンネル部分が車体に干渉する場合があります。その際は、保護テープを貼るかファンネルを取り外して下さい。

●CARBON POWER A3C をご購入の方へ

■コア部パーツリスト■					
クリーナー本体	バンド	クーリングシールド	ロックプレート		
				1	3
M4六角頭ビス	M4六角レンチ	保護テープ(紙製)	アダプターテープ(ビニール)		
				6	1
			20mm×500mm	1	

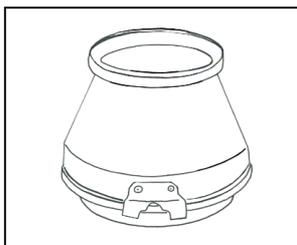
■コア部の組立手順■

手順 1



クーリングシールドをコアにはめ込みます。

手順 2



ロックプレートを、M4 六角頭ビスを使用して組み付けます。
 ※M4 六角頭ビスを破損させないようにご注意ください。
 ※定期的に増し締めを行ってください。
 ※シールド位置の可変はできません。

※以上で、コア部の組立は終了です。

■アダプターテープの使用方法について■

コアとアダプターを組み付ける際、隙間が大きい場合にはアダプターテープをアダプター外周部に貼り付けてください。アダプターからコア本体が脱落するのを防止します。

■メンテナンスについて■ <商品メンテナンスの重要事項です>

フィルターの交換及び清掃に関して

- 定期的にコア本体を取り外し中性洗剤で洗浄してください。
- ※性能維持の為に 5000 km ごとの洗浄を推奨致します。
- ※クリーナー部の汚れが酷い場合や破損している場合は、別売りのクリーナー本体をお買い求めください。

ご注意!

- 1) 他社メンテナンスキット及び灯油等によるフィルター清掃はエンジン損傷の原因になります。弊社の保証外にもなりますので、絶対に行わないでください。
- 2) ロックプレート取り付け/取り外しの際、M4 六角頭ボルトと緩み止めのOリングを破損・紛失させないようにご注意ください。弊社にて作業者のミスによる損傷と判断させて頂いた場合は保証外となります。ご了承ください。

カーボンクーリングシールドについて ※下記カーボン製品の特性になっております。ご了承願います。

- カーボン繊維を曲面に貼り付けているため合わせ面が存在します。その部分はカーボンの目が均一になっていません。
- カーボンシールドを内側から覗くと外側の光が見えます。カーボン繊維の隙間から見えるもので、シールド本体に穴が開いているなどの異常ではありません。
- カーボンシールド表面、内側に凹凸や光沢ムラ、細かい気泡がある場合があります。
- カーボンシールドに強い衝撃を与えると、割れる恐れがありますのでご注意ください。
- カーボン製品のため、長期使用による表面の傷、変色などが発生する場合があります。

1. ノーマルクリーナーの取り外し

- ①バッテリー端子を取り外します。
- ②エアフロセンサカバーとハーネス固定のクリップを外します。図 1 参照
- ③同様に LH も取り外します。図 2 参照
- ④BOX 固定ボルトを外し、サクションホースのバンドを緩め、クリーナーBOX を取り外します。図 3 参照。
- ⑤同様に LH も取り外します。図 4 参照。
- ⑥クリーナーBOX からエアフロセンサを取り外します。

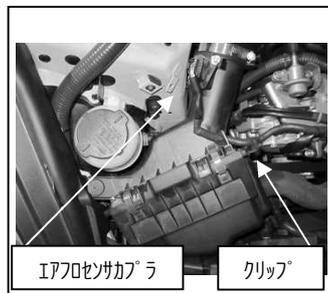


図 1

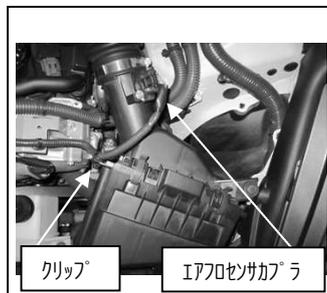


図 2

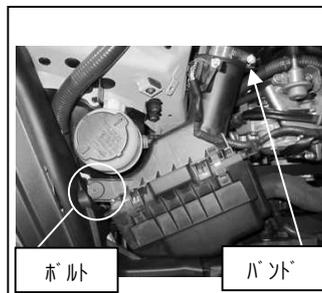


図 3

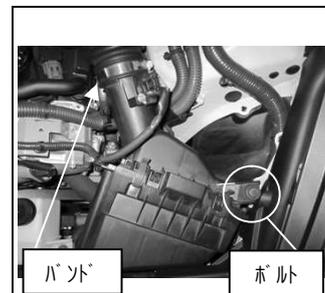


図 4

2. エアクリーナー取り付け

※各作業は仮組みとし、全体の位置を調整しながら最後に増し締めしてください。

- ①まず、RH を組み立てます。
- ②エアフロアダプターへ、エアフロセンサを取り付けます。図 5 参照
- ③エアフロアダプターフランジ部へスポンジテープを貼り付けます。図 6 参照
- ④エアフロアダプターへ、アダプター、ステーRH、整流プレート、を取り付けます。図 7 参照
整流プレートは、エアフロアダプターと、アダプターの間へ挟み込み、ボルトで固定します。図 8,9 参照
ボルトは、付属の M6×20 を使用します。
- ⑤Φ70 パイプを車両サクション部へ挿し込みます。図 10 参照

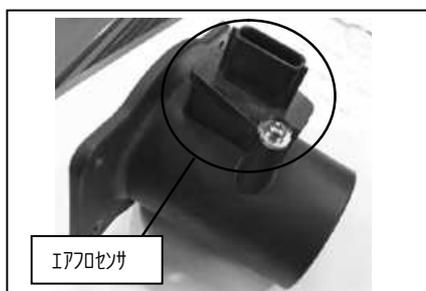


図 5

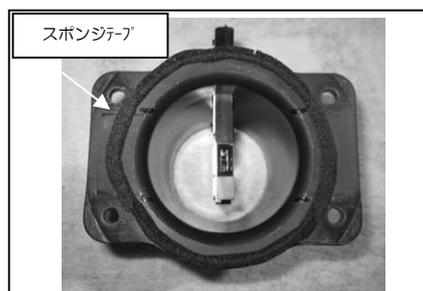


図 6

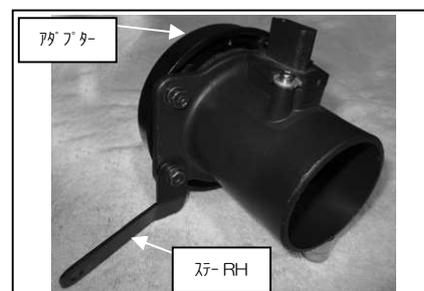


図 7

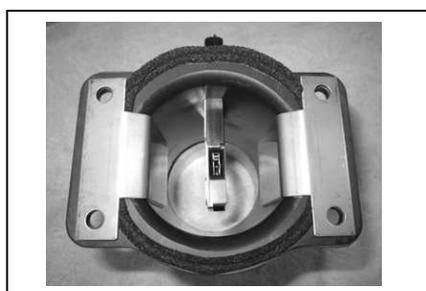


図 8



図 9



図 10

- ⑥取り付けたΦ70パイプへ、付属のバンドを使用してΦ70ホースを接続します。図 11 参照
- ⑦組み立てたアダプターASSYを車両へ取り付けます。○部分のボルトを外し、ステーを固定します。
※ステーとEGの間へ付属のワッシャーを1枚挟みます。図 12、図 13 参照
- ⑧○部分のボルトを外し、ヒートプレート RH を取り付けます。図 14 参照
※取り付けには純正のボルトを再使用してください。図 15 参照
- ⑨一度コア本体を取り付け、各部に干渉が無いか確認し各部のボルト、バンドを本締めしてください。
- ⑩エアフロセンサカプラを接続し、コア本体を取り付けます。図 16 参照

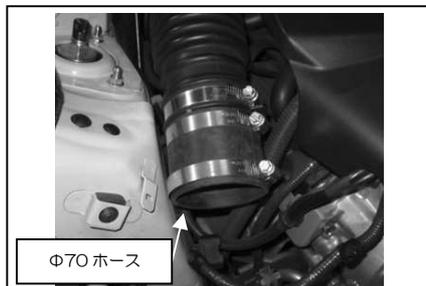


図 11



図 12



図 13



図 14



図 15

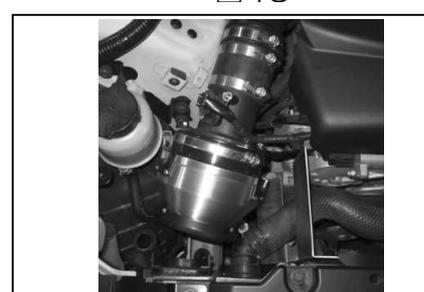


図 16

- ⑪LHを組み立てます。
- ⑫エアフロアダプターへ、エアフロセンサを取り付けます。図 17 参照
- ⑬エアフロアダプターフランジ部へスポンジテープを貼り付けます。図 18 参照
- ⑭エアフロアダプターへ、アダプター、ステー-LH、整流プレート、を取り付けます。図 19 参照
整流プレートは、エアフロアダプターと、アダプターの間へ挟み込み、ボルトで固定します。ボルトは全て M6×20 を使用します。図 20,21 参照
- ⑮RH 同様に、Φ70パイプを車両サクシオン部へ挿し込み、Φ70ホースを接続します。図 22 参照

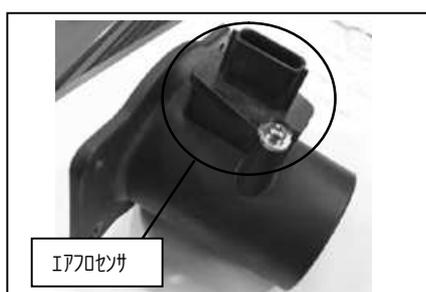


図 17

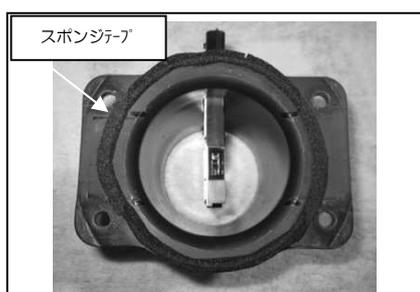


図 18

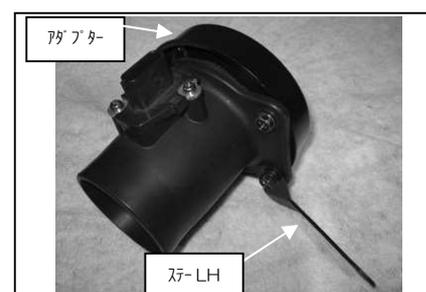


図 19

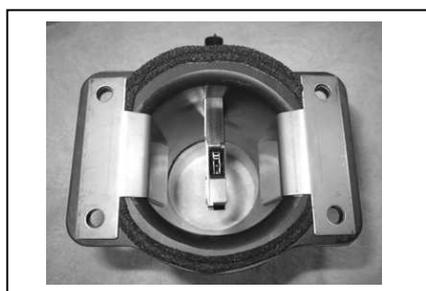


図 20



図 21

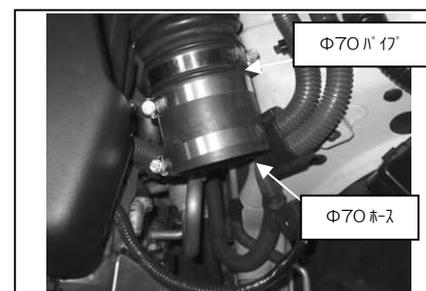


図 22

- ⑯組み立てたアダプターASSY を車両へ取り付けます。○部分のボルトを外し、ステーを固定します。
 ※ステーとEGの間へ付属のワッシャーを1枚挟みます。図23、図24参照
- ⑰○部分のボルトを外し、ヒートプレートRHを取り付けます。図25参照
 ※取り付けには純正のボルトを再使用してください。図26参照
- ⑱一度コア本体を取り付け、各部に干渉が無いか確認し各部のボルト、バンドを本締めしてください。
- ⑲エアフロセンサカブラを接続し、コア本体を取り付けます。図27参照
- ⑳バッテリー端子を取り付けます。



図23



図24



図25



図26



図27



完成図

以上で作業は終了です。定期的に干渉や緩みが無いか、各部の点検や増し締めを行ってください。

※エアクリーナー取り付け直後は、エアフロセンサー等の初期学習値が変わるため、エンジンがストールする場合があります。
 取り付け等に不備が無いか確認後、再始動し学習させてください。

※カーボンパワーエアクリーナー装着時、2段階（最大）の状態だと、車体各部とシールドが干渉する場合があります。
 その際は、1段階（最小）の状態でご使用ください。

保証書

この度は本製品をお買い上げ頂きありがとうございます。
本製品が正常な使用状態で、製造上の原因による故障が生じた場合、下記保証期間中において本状記載の保証規定に基づき無償で修理致します。

●車両型式（車検証に記載されています。）： _____
 ●エンジン型式（車検証に記載されています。）： _____
 ●登録年月日（車検証に記載されています。）： _____ 年 月 日
 ●走行距離（クリーナー交換時の距離）： _____ km
 ●お客様名： _____ km
 ●お客様住所： _____
 ●お客様お電話番号： _____
 ●販売店名： _____
 ●商品購入日時： _____ 年 月 日
 ●不具合内容： _____

保証規約

フィルターを除く部品に関して、**ご購入から1年間**において無償修理致しますので、製品、本保証書及びご購入時のレシート（又は領収書）を持参の上、ご購入店にお申し出下さい。

1.下記の事項に該当した場合は有償です

- 1) 上記記載事項抜け及び所定事項を訂正した場合。
- 2) 本保証書及びレシートが無い場合。
- 3) ユーザー様が直接弊社に持ち込んだ場合。
- 4) 弊社にて取り扱い不備によるものと判断させて頂いた場合。
- 5) 不当な改造や修理によって生じた故障や損傷がある場合。
- 6) 他の機器が原因で本製品に故障が生じた場合。
- 7) 購入後の経年変化及び消耗品の交換

2.注意事項

- 1) 本製品が原因で生じた付随的損傷（エンジントラブル、その他事故）や自動車を使用出来なかった事による損失（電話代、レンタカー代、休業保証、商業損失）等については、一切の保証は致しかねます。
- 2) 本保証書は再発行致しません。

開発・製造・発売元 株式会社ブリッツ
 所在地 〒202-0023 東京都西東京市新町 4-7-6
 連絡先 0422-60-2277

取扱説明書番号 42129010

初版作製年月日 2011.3.1